

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているが、まだまだ不十分である。	利用者・ご家族からの意見、要望を収集し、運営に反映させる。反映させた内容と件数は運営推進会議やホームページ内で公表する。毎月一件以上反映が目標数値。	利用者・ご家族からの意見・要望を書面に書き留めて、内容について月に一回フロア会議で取り上げる。意見・要望に対して月に一件以上は応えるよう努める。結果については運営推進会議やホームページにて発表する。	3ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させているが、まだまだ不十分である。	職員の意見や提案を運営に反映させる。毎月一件以上が目標数値。	フロア会議以外でも職員より意見を聞く機会を設け、運営に反映させる。	6ヶ月
3	13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めているが、まだまだ不十分である。	職員が研修を受ける機会を増やし、職員のサービスの質の向上を目指す。介護福祉士合格者を1名以上輩出する。	法人全体の定期的な研修以外に月一回(月に一人)研修を受ける機会を設けて、サービスの質の向上を目指す。	12ヶ月
4	29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援しているが、まだまだ不十分である。	利用者に地域住民のサポートがあることを感じ取って戴き、安心して生活できるようになる。外出時に地域住民より声をかけて戴けるようになる(毎回)。	運営推進会議への参加、介護サービス相談員・民生委員等の訪問をきっかけに地域の行事や近隣の店舗への買物や散歩などを通して馴染みの関係者を増やす。	12ヶ月
5	53	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援していたが、コロナ以降出ていない事が多い。	心身の安定、ADL低下防止のために徒歩あるいは車椅子、自動車にて外出の機会を増やす。通院以外での外出を毎月一回以上実施。	利用者別に外出計画をたてる。外出先の希望を確認する。買物はスーパーマーケット(バロー)に、珈琲はスターバックス、ドーナツはチキンプリンスで購入。近所への移動は小回りの利く軽自動車を利用して移動する。大人数で一緒に移動する際はハイエースを使用し、運転手+職員2名体制で支援する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。